



上空から見た南部IC(左上)増穂PAと直結する道の駅富士川(右上)
南部町役場と近くを通る中部横断自動車道(左下)「パイ・ふじのくに」キャンペーンとして静岡伊勢丹で南アルプス市産サクランボを販売(右下)

祝 全線開通1周年 中部横断自動車道 山梨〜静岡間

山梨〜静岡間の全線開通から1年。沿線の峡南地域では県外からの来訪者数が増加しています。また、沿線の周辺では企業の立地や事業拡大などが進んでいます。

県では、隣接県と南北方向の大動脈が繋がったインパクトを最大限に生かし、本県経済の活性化に取り組んでいきます。

―着工から24年、待望の開通

山梨〜静岡間の着工から24年。令和3年8月に下部温泉早川IC〜南部ICが開通し、長年待ち望んでいた道路が完成しました。

全線開通に至るまでには、さまざまな困難がありました。増穂以南の着工のめどが立たなかった当時、県は、国と費用を負担して整備する「新直轄方式」を要望しました。整備の実現と引き換えに費用負担を受け入れることにしたのです。その後、国が同方式による整備を決定したことで、増穂以南の区間は完成に向けて大きく動き出しました。

しかし、六郷IC〜富沢IC間はトンネル部分が多く、地盤が軟弱であることから工事は難航し、全線開通時期が3回にわたり延期されました。



山梨・静岡両県の関係者が開通を祝った

工期延長に伴い工事費は増大し、県負担額も大きく膨れ上がりました。長崎知事が就任以降、この負担額を削減するため国に要望を重ねた結果、地方交付税措置の大幅拡充が認められ、約164億円の県負担額は約1億円にまで削減されることとなりました。

全線開通から1年。沿線の周辺では、企業の新たな進出や事業拡大などが進んでおり、地域の雇用創出や地価上昇などの効果が表れています。

ビッグデータの解析結果によると、県外から峡南地域の主要観光地への来訪者数は、静岡県と東京都、神奈川県のおよそ60%以上増と大きく伸びています。

中部横断自動車道を利用した方が実施したアンケートでは、移動時間の短縮や快適な走行などの点で、多くの方が開通の効果を実感しており、遠方への出かけやすさや滞在時

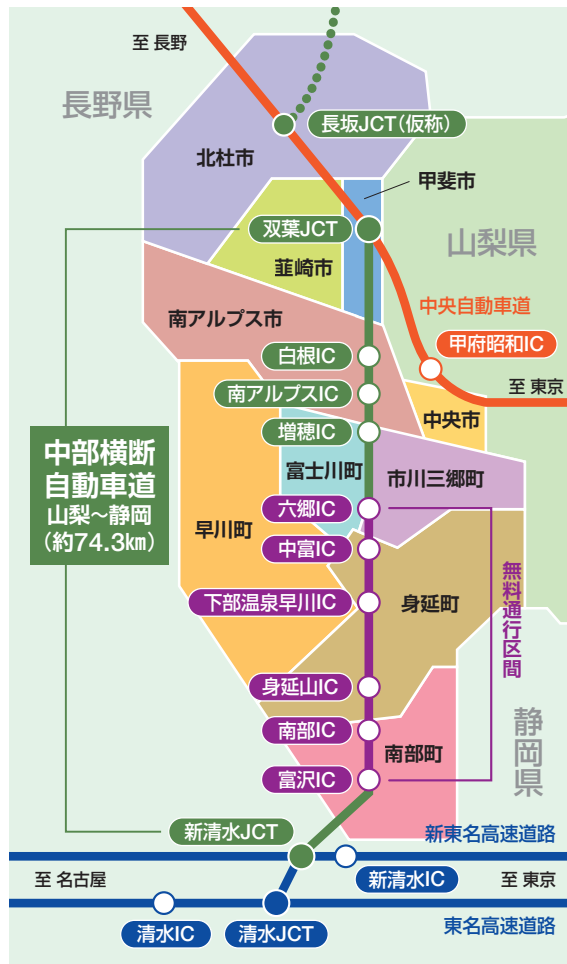
開通から1年で
企業立地と来訪者が大幅増



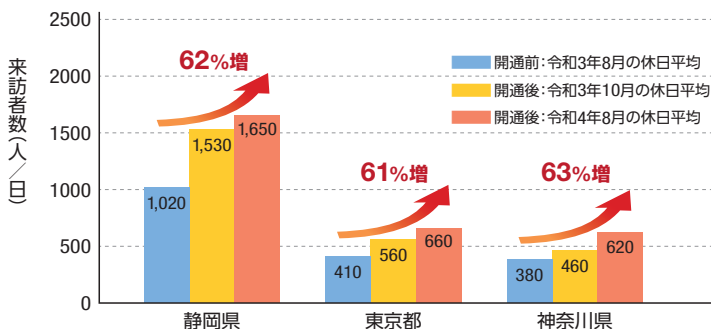
峡南地域の町や道の駅とともに立ち上げた協議会で地域活性化に取り組んでいる

間の増加につながっていることが分かりました。

県では全線開通の効果を一過性のものとしないうよう、沿線の町や関係者と連携し、地域活性化の取り組みを進めています。



峡南地域への居住地別来訪者数

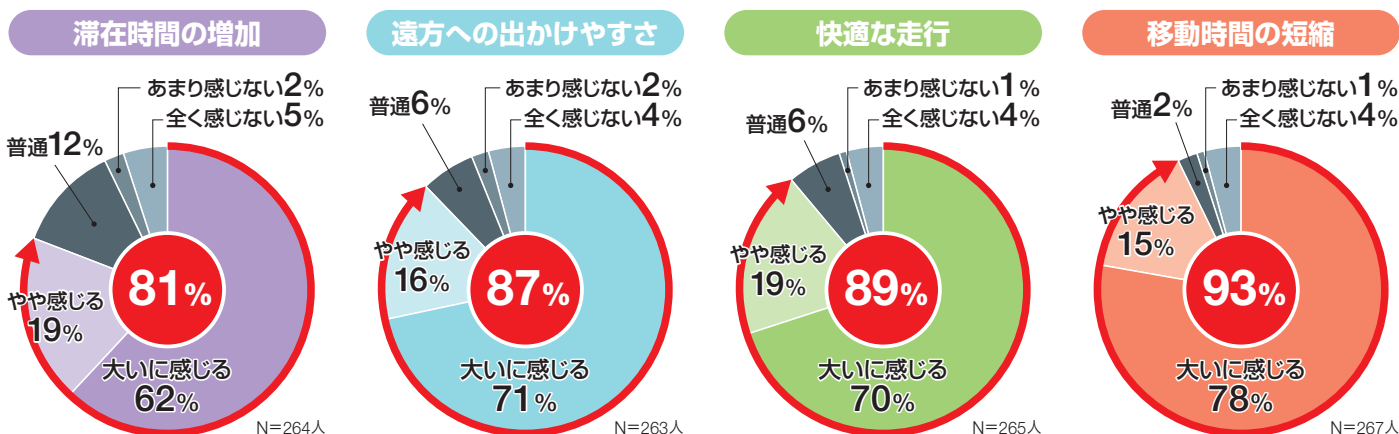


出所: DS.INSIGHT (ヤフーデータソリューションの行動ビッグデータ) 峡南地域内の主要観光地が立地するメッシュを対象に来訪者(ビッグデータのサンプル数)を集計

沿線周辺への企業立地

所在地	業種等	開設時期
南アルプス市	洗口液工場	令和3年操業開始
南アルプス市	化粧品工場	令和6年操業開始予定
南アルプス市	倉庫型量販店	令和6年操業開始予定
中央市	物流センター	令和2年操業開始
中央市	物流センター	令和4年操業開始予定
身延町	合板工場	令和元年操業開始
身延町	除菌水生成工場	令和2年操業開始
南部町	物流センター	令和3年操業開始

利用者アンケート



道の駅富士川、道の駅みのぶ、道の駅なんぶ、道の駅とみぞわ及び久遠寺にて実施した県のアンケート調査(令和3年10月17日)

「広域道路網が拡大」

中部横断自動車道にはさまざまな役割が期待されます。

その一つとして、富士山を中心とする周遊ルートの形成があります。中部横断自動車道と中央自動車道、東富士五湖道路、東名高速道路がつながり、あらゆる地域の方が山梨を訪れ県内各地を巡りやすくなることから、観光消費など県内経済の活性化が見込まれます。特に無料区間がある峡南地域は旅の途中でも立ち寄りやすく、そこから他の地域へ足を伸ばすことも期待できます。

また、中部横断自動車道には広域迂回路としての役割もあります。過去には自然災害により県外との交通が寸断されることがありましたが、隣県と結ばれる路線を複数確保することで、1つの路線が通行できなくなっても他の路線を迂回することができます。交通が途絶えるリスクを減らすことにつながります。

「甲斐国」から「開の国」へ

静岡県と高速道路で直結したことで、清水港や富士山静岡空港までの所要時間が短くなり、国内外とのアクセスが飛躍的に向上しました。山梨県は「甲斐国」から海と空に開か

れた「開の国」へと進化を遂げたのです。人や物の流れが活発化し、それによってもたらされる経済効果は今後大きく表われてくるでしょう。

静岡県とは、開通を契機にこれまで以上に連携を深めています。山梨・静岡それぞれの旬の農畜水産物を互いに購入する取り組み「バイ・ふじのくに」や、生産額全国首位である静岡県の医療機器産業と本県の機械電子産業を結び医療機器産業の一大集積地に成長させる「メディカル・デバイス・コリドー構想」の取り組みのほか、水素・燃料電池分野でも連携が進んでいます。

中部横断自動車道はさまざまな可能性を秘めています。今後、長坂〜八千穂間が整備されると、長野県との新たなルートが開け、さらに大きな効果が期待できることから、県では、国に対して早期に整備するよう強く働きかけていきます。



国土交通省に長坂〜八千穂間早期整備の要望書を提出する長崎知事(令和4年7月)



INTERVIEW_1

峡南地域の未来を開く
活気に満ちた町づくり



南部町 町長
佐野 和広 さん

中部横断自動車道の開通で、人の流れが生まれ、町が明るくなりました。「道の駅なんぶ」は、静岡のみならず中京圏から訪れる人が増え盛況です。これまで開通を視野に町づくりを進めてきたことが実を結び、すでに企業誘致が実現し、雇用の創出などにつながっています。

今後は静岡からの移住促進を図ります。交通の利便性が向上したので、静岡の広範囲が通勤圏となりました。南部町は土地が安く自然に恵まれています。診療所は2カ所あり、万が一の際には県立中央病院でも静岡県立総合病院でも1時間以内で行けるようになりました。このような本町の優位性や、これまで力を入れてきた子育て・教育施策などを現役世代に訴えていきます。

今年6月に完成したアルカディア多目的広場は、富沢ICから近くアクセスしやすいので、静岡県の方も多く利用されており好評をいただいています。

これからも美しい自然環境と南部氏発祥の歴史、豊かな農産物などの地域資源を発信し、お年寄りも若い人もみんなが活気に満ちた持続可能な町をつくっていききたいと考えています。

INTERVIEW_2

山梨の玄関口として
地域の多彩な魅力を発信



道の駅富士川 代表取締役社長
居村 一彦 さん

道の駅富士川は、中部横断自動車道増穂PA（下り）と直結しており、昨年8月に静岡まで開通して以来、静岡県のナンバーの車が増えていることを実感しています。開通後の昨年9月から富士川本線料金所の交通量は平均で約1・5倍に増加していると聞いています。

道の駅富士川は、静岡方面からいくつものトンネルを通過してパッと視界が開けたところであり、山梨の南の玄関口となっています。

その中で私たちは、いかにお客さまに魅力を発信し立ち寄っていただくかを考え、さまざまな取り組みをしています。

ご好評いただいていたフルーツ王国やまなし自慢の果物や地域で育てられた旬の野菜をはじめとする、新鮮な農産物のさらなる充実を図りました。また富士川町産の原材料にこだわり、棚田米や卵、ゆずを使い、その場で焼き上げた米粉のバウムクーヘンも4月から販売を開始しました。ここを拠点として周辺地域を観光していただくためのレンタサイクルも用意しています。

道の駅富士川は、今後も訪れるお客さまに、よ一層山梨の魅力を発信してまいります。

INTERVIEW_3

山梨の発展につながる
物流の一大拠点を目指す



富岳通運株式会社 総務課課長
小原 春人 さん

中部横断自動車道が開通したことにより配送の迅速化が図られ、弊社のみならず県内全体で物流関係の仕事が増えています。

特に万が一の流通停滞に備えた、在庫型サプライチェーンを求める企業が増え、倉庫の需要が今まで以上に高まる傾向にあります。

山梨は首都圏に近く、広い用地があり、道路の整備によって近隣都県とのアクセスが向上していることから、注目される地域となっています。

輸出入の面では、清水港や名古屋港へ短時間で移動でき、将来長坂以北が開通すれば新潟港へのアクセスも可能となり、さらに利便性が上がると考えます。このような状況から判断すると、山梨が物流のハブ県となり大きく発展していく可能性が高いと考えます。

弊社では、防災機能を併せ持った物流拠点「山梨中央ロジパーク」が稼働します。物流の強靱化を図るとともに、地域防災にも貢献できればと思います。物の流れを整えれば企業が集まり、雇用が生まれ人が集まる。企業や人が集まれば物流がさらに増える。道路網が整備されたこのチャンスを生かし、今後も取り組みを進めてまいります。